# CONTENTS

- 大和ハウスグループの 理念体系・将来の夢
- フジタの"高"環境づくり
- トップメッセージ
- 目次・編集方針
- フジタについて
- フジタのあゆみと事業
- フジタの"高"環境づくりの実現
- 11

# フジタの「原点であり未来像 | 創業の地 広島

15 リスクと機会

#### 環境

- 17 環境目標とマネジメント
- 気候変動の緩和と適応に向けて 19
- 生物多様性保全のために 21

#### 社会

- 22 さらなる品質向上のために
- 23 新たな価値・創造のために
- 25 協力会社とともに
- 27 安全な職場環境のために
- 働きやすさとやりがいのために 29
- 人財育成のために

## ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス
- 38 リスクマネジメント
- コンプライアンス
- 43 主な外部表彰
- 44 第三者意見

# 編集方針

### レポート発行にあたって

フジタ " 高 " 環境レポートは、当社の理念、経営ビジョン、CSR活 動の実績を一体的に開示し、すべてのステークホルダーの皆さまに当 社の事業活動全体をご理解いただくことを目的に発行しています。「環 境報告・社会報告・ガバナンス報告」の大きく3つの要素で構成し、 それぞれの項目において SDGs の視点で捉えた編集となるように心 がけました。

本レポートの編集プロセスにおいて年度の活動成果を振り返り、自 社の強みや課題を認識して今後の PDCA に生かすことで、ステーク ホルダーの皆さまとのコミュニケーションの充実を図ってまいります。 より多くのステークホルダーの方々にご意見をいただけるよう、「フジ タ " 高 " 環境レポート 2024」のアンケートを PDF 化し、本レポート の PDF 版とともに当社ホームページ (https://www.fujita.co.jp/ sustainability/koukankyo/) に掲載しております。

アンケート回答へのご協力をお願いいたします。お寄せいただきま したご意見、ご提言は今後の社会貢献・環境保全活動と、フジタ"高" 環境レポートの制作に活用させていただきたいと考えています。

## 報告対象範囲 》

フジタ単体と一部関係会社 / グループ会社の 情報を含んでいます。

# 報告対象期間 》

2023年度(2023年4月~2024年3月) の活動を中心に記載していますが、 一部直近の活動に関しても必要に応じて記載 しています。

# 発行時期

今回の発行:2024年8月 (前回の発行: 2023年8月、 次回の発行予定:2025年8月)

## 参考とした ガイドライン

GRIスタンダード 環境省『環境報告ガイドライン (2018年版)』

#### 主なコミュニケーションツールのご紹介









定期刊行誌 トピックニュース

フジタ技術センター https://www.fuiita.co.ip/tech\_center/

# フジタについて

# 会社概要

会社名 株式会社フジタ(Fujita Corporation) 本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号

創業 1910年12月 設立 2002年10月 資本金 140億円

従業員数 3,398人(2024年4月1日現在) 建設業許可 国土交通大臣許可(特-4)第19796号 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(5)第6348号

業 能 総合建設業

主な事業内容 建築・土木ならびに関連する事業

#### 当社詳細については下記をご覧ください

会社概要·事業内容 https://www.fuiita.co.ip/

事業所一覧(住所・連絡先)

https://www.fujita.co.jp/

company/head/







関係会社 https://www.fuiita.co.ip/ company/group/



# 海外支店/駐在員事務所/海外関係会社

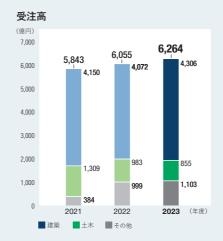
- ■上海事務所
- ■香港支店
- ■フィリピン支店 ■ソウル支店
- ■ハノイ事務所
- ■ホーチミン事務所
- ■メキシコ支店
- ■台北支店
- ■バングラデシュ支店
- ■ドバイ支店
- ■インド事務所
- ■ヤンゴン支店
- ■マレーシア支店
- ■シンガポール事務所 ■ドー八支店
- ■ケニア支店
- ■ペルー支店
- ■フジタアメリカス
- ■藤田(中国)建設工程有限公司
- ■フジタフィリピン ■フジタベトナム
- ■フジタインド
- ■フジタメキシコ
- ■フジタマレーシア ■フジタタイ

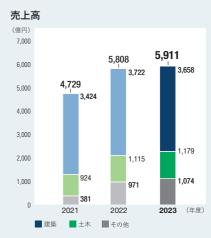
2023年度フジタ業績報告(連結)

当事業年度における我が国の経済は、3年間のコロナ禍が収束し、 高水準の賃上げや企業の高い投資意欲、またインバウンド市場の回 復など、緩やかな景気の持ち直しの動きが続くものの、海外では各 所で紛争などが発生していることなど、地政学的なリスクにより先行 きに対する不透明な状況が続きました。建設業界におきましては、 公共、民間建設投資ともに国内外の経済活動の持ち直しにより、概 ね堅調に推移しているものの、原材料価格の高騰や需給ひっ迫によ る建設コストの増加により、経営環境は厳しい状況が続きました。こ のような環境の中、中期経営計画の2年目にあたる当事業年度は、 引き続き「変化をとらえ、強みを磨き、地球と未来に必要とされる 会社に」のスローガンのもと、「顧客満足の追求」「業務改革による

生産性向上|「ESGを軸とした基盤整備」、以上3点を重点方針とし て取り組んでまいりました。当期の経営成績につきましては、受注 高は主に建築の国内民間が前期に比べ大型工事の受注が多かったこ とにより前期比3.5%増の6,264億円となりました。売上高につ きましては、建築、土木ともほぼ計画通りに期首手持高を消化した ことに加え、開発事業等における不動産物件売却が増加したことに より、前期比 1.8%増の 5,911 億円となりました。

利益につきましては、建築が資材価格の高騰等により採算性が低下 し減益となったものの、開発事業等では不動産物件の売却増加に よる増益により売上総利益は前期比で増加し、営業利益は前期比 21.1%増の221億円となりました。







業績の詳細については弊社コーポレートサイトをご覧ください https://www.fujita.co.jp/company/performance/



5 フジタ"高"環境レポート 2024